1／大盛り上がりの川上麻衣子さんトークショー
2／三鉄車両に応援メッセージ
3／復旧祈願のだるま
4／力自慢の車両牽引レース
5／親子で軌道自転車乗車体験

楽しい企画でにぎわう

第４回秋のさんてつ祭り

４月１日に久慈ー田野畑間の運行を再開し、復興に向けて力強く歩みを続ける三陸鉄道。11月４日、４回目となる秋のさんてつ祭りが三陸鉄道久慈駅などを会場に開かれ、約1,500人の三鉄ファンでにぎわいました。

久慈駅前のさんてつお祭り広場では景品付きもちまきや三鉄グッズ販売が行われました。

お座敷列車とレトロ列車が展示された車両基地会場では線路を走る軌道自転車の乗車体験や本物の車両を引っ張るタイムレースなど楽しいイベントが盛りだくさん。車庫内には震災からの復興状況を紹介するパネルを見つめる人や車両に三陸鉄道を応援するメッセージを書き込む姿が見られました。特設ステージでは川上麻衣子さんのトークショーやじゃんけん大会などが行われ、多くの親子らで大いに盛り上がりました。

三陸鉄道ブログを見て訪れた越田史也さん（青森市）は「毎年来ています。早く全線復旧してほしいですね」と願っていました。

活動の達成感が表情に表れます

一日隊員５人に感謝状

消防の広報活動に協力

ふれあい消防フェアで一日消防救急隊員を務めた久慈高校３年生の小田晃大さん、工藤正椰さん、古屋敷友陽さん、下舘利哉さん、谷﨑貴紀さんに10月30日、久慈消防本部の久慈正敏消防長が感謝状を贈呈。工藤さんは「地域に貢献する仕事ができていい経験になりました」と充実した表情でした。

おいしいチキンに満足

ふれあい給食が開催

地産地消と地元食材の美味しさを理解するふれあい給食は10月26日、小袖小学校で開催。児童たちは県産チキンを使った給食で生産者らと交流した後、ニワトリの育て方を学び理解を深めました。楢見舘海聖くん（３年生）は「おいしかったし大事に育てているのが分かりました」と満足げでした。

おいしい給食に笑顔がこぼれます

介護生活を語る小山明子さん

日々の出来事に共感―

家族介護者支援講演会

10月25日、家族介護者支援講演会がアンバーホールで開催され、約400人が参加しました。女優の小山明子さんが自身の病気を克服したことや夫の介護生活、日々の出来事などありのままをユーモアを交えながら紹介。参加者は小山さんの話に共感してうなずきながら熱心に聴いていました。

TOWN TOPICS

広報リポーターの突撃取材！

津波の記憶 後世に―

あいさつをする一沢明男発起人代表

11月11日、東日本大震災を後世に伝えるモニュメント建立の会設立総会が元木沢公民館で開催。鎮魂と復興を願い、津波の記憶を後世に伝えるモニュメントの平成25年３月11日着工に向け、準備が進められます。（小倉利之リポーター）

侍浜中生、一揆を熱演

住人と年貢取り立ての役人を演じる生徒

10月28日、侍浜中学校（関根正彦校長）の文化祭で、約180年前の八戸藩最大の一揆「久慈通百姓一揆」を全校生徒70名が熱演。一揆発生など緊迫したシーンでは、観客からどよめきと惜しみない拍手が送られました。（梅沢政隆リポーター）

かかしで地域を活性化

小久慈公民館でかかしづくり

10月20日、小久慈公民館で成人学級「かかしづくり」が開催され、地域の高齢者など約20人が参加しました。かかしの骨格には震災で出た木材を再利用。体はペットボトルやスポンジ、わらなどで肉付けしました。古着を着せて完成したかかしは農作業姿から野球選手、親子など全９体。離れて見るとかかしか人かわからないほどの素晴らしい出来栄えに参加者も満足した様子でした。

松橋重男館長は「最近見られなくなったかかしで地域活性化を考えています。今後は親子の参加も増やして町民文化祭でコンテストをしたいです」と意気込んでいました。

かかしがどこか分かりますか？

大きな大根に一生懸命

小久慈保育園で収穫

11月19日、小久慈保育園（高柳利久園長）で今年最後となる野菜の収穫が行われました。この日は２歳以上の園児59人が大根を収穫。自分の身の丈ほどもある大根を園児たちは一生懸命引き抜きました。昆野天翔くん（４歳）は「大きな大根を抜くのは楽しかったです」と笑顔で話していました。

今、一人で引っこ抜くからね！

ユーモアも交え講演する田崎さん

地の物に誇りを持って

全国山ぶどうサミット開催

11月９日、「全国山ぶどうサミット」がアンバーホールで開催。ソムリエの田崎真也さんの講演とヤマブドウの消費拡大に向けたパネルディスカッションが行われました。講演で、田崎さんは自身の食に関する体験を交えながら「その地の人が地の物に誇りを持つことが大切」と参加者に訴えました。

住民に防火呼びかける

保育児が防火パレード

11月８日、久慈湊保育園（中田恵子園長）の園児ら41人が湊町内で防火パレードを実施しました。そろいのはんてんを羽織り「マッチ１本火事のもと、火の用心！」と元気な声で町内をパレードする子どもたちに、沿道にいた住民も笑顔になり、防火への意識をあらためて高めていました。

大きな声で「火の用心！」